

江幡太穠先生選評



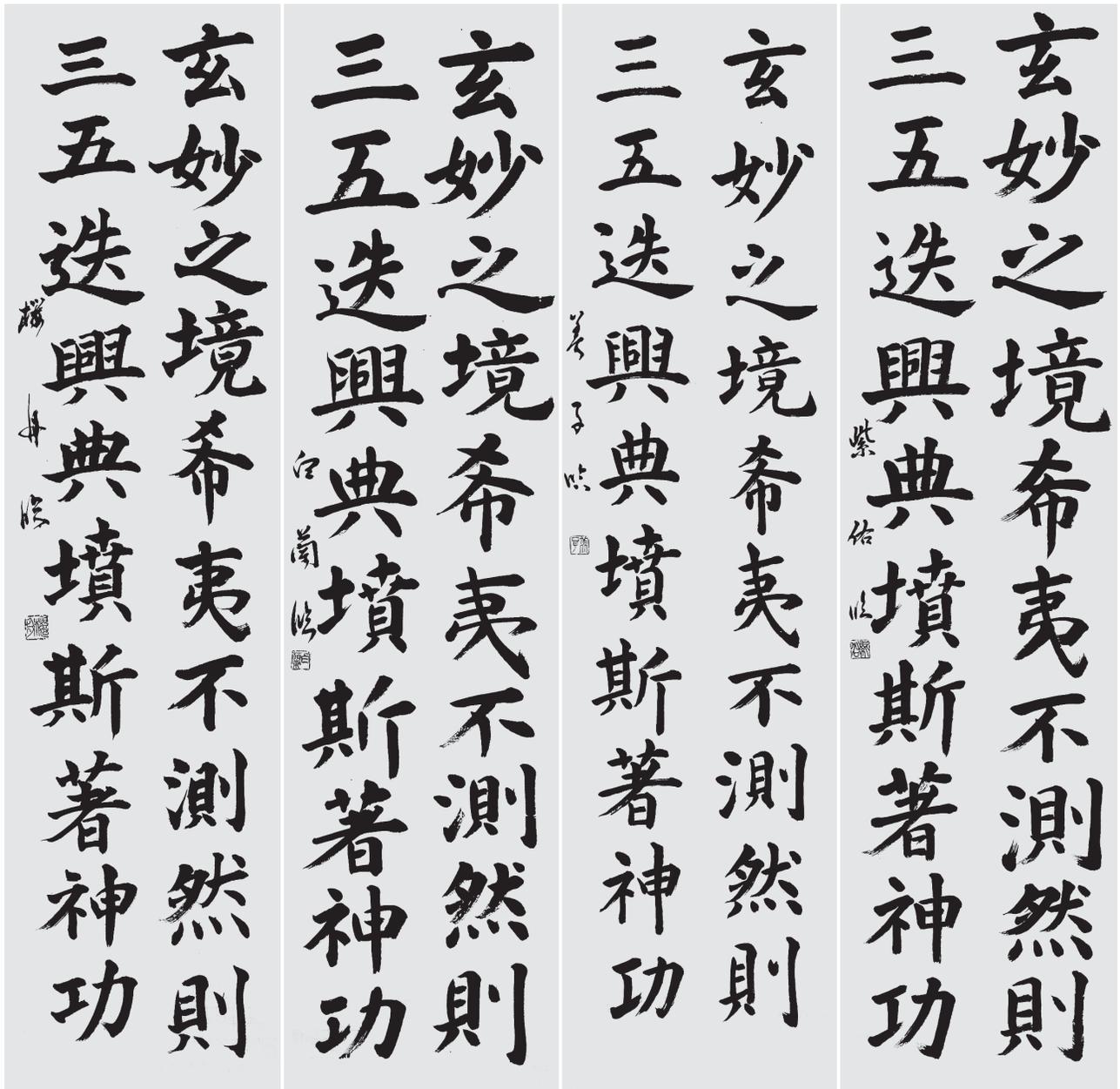
坂本千陽 推選
いつもと違うタッチの一行目、二行目との調和が欲しかったか。私は一行目が好きだ。何とも言えない「月」お洒落でセンス良く、潤渇太細の変化が見事だ。

丸山純子 推選
墨量充分で力強く書けています。漢字仮名の調和ですが、一行目仮名が少し弱い様に見えます。その点二行目は素晴らしいと思います。「む」独自の表現見たかった。

尾崎遥音 推選
リズム良く多種多様な線が光ります。潤渇、大小、太細も見事で動いています。特に「入りなむ・夜な夜な」じっくり観ても飽きの来ない作。歌人名細かった。

近藤心響 推選
細い線の中にも太細、強弱潤渇が程良く、何と云っても心地良いリズムが眼を引く作。腕前確かだ。やはり「む」前者同様独自の表現したかった。歌人名の位置？

伊藤漢仙先生選評



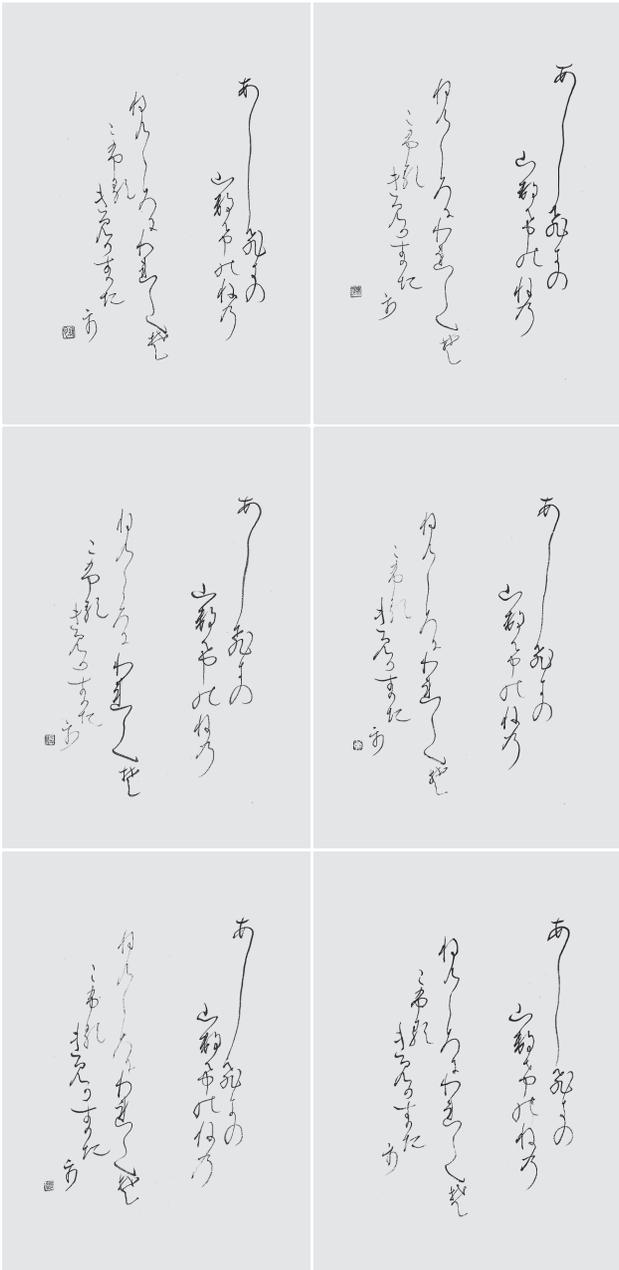
菜嶋紫佑 推選
 柔らかくゆつたりと運筆して、全体のバランスも申し分ありません。孔子廟堂碑の雰囲気良く捉えていて、素敵な臨書になりました。

東谷美子 推選
 穏やかな筆意で起筆や転折に丸みがあり、品格のある作品です。字間、行間の空さも良く、凛とした佇まいの字形に好感が持てます。原帖を良く見えています。

牛島白蘭 推選
 厚みのある線で丸みがあり字形に伸びやかさと、おどらかさがある明るい作品になりました。力みが抜けて自然な運筆が素晴らしいですね。

内梨櫻舟 推選
 余白が利いていて、白と黒の調和に優れた立派な作品に仕上がりました。文字の表情も起筆、送筆、収筆としっかり強い線質で表現出ています。

佐々木優子先生選評



鈴木絲香 七段
積極的リズムで弾力を生み出し、生き生きとした作品です。更に筆庄の変化、遅速のリズムを追求され、原帖の世界を楽しませて下さい。

田窪優子 準七
自由に大胆に動く原帖のリズムを良く捉えています。あと少し、墨色を濃くして書かれるとくいい込む線質が生まれ深みが増します。

羽賀道子 六段
リズムミカルに淀みなく躍動感溢れる作品です。紙にくい込むゆつくり息を吐く呼吸で書く線が加わると作品に広がりが出ると思います。

渋谷ふさ子 師範
思いのまま大胆に淀みなく流れる香紙切の特徴を良く捉えています。後半「き見」で墨を入れると作品に深みが増すと加わったのでは。

霜鳥卯水 師範
弾力ある線で生き生きとリズムにのり流動美溢れる作品です。紙ににくい込む鋭敏な線質が加わると躍動感が増すのでは。

高田綱子 準師
運腕大きく伸びやかなリズムで書かれています。墨量が多いことが惜しまれますが、鋭い線質も加わると表現が更に豊かになると思います。

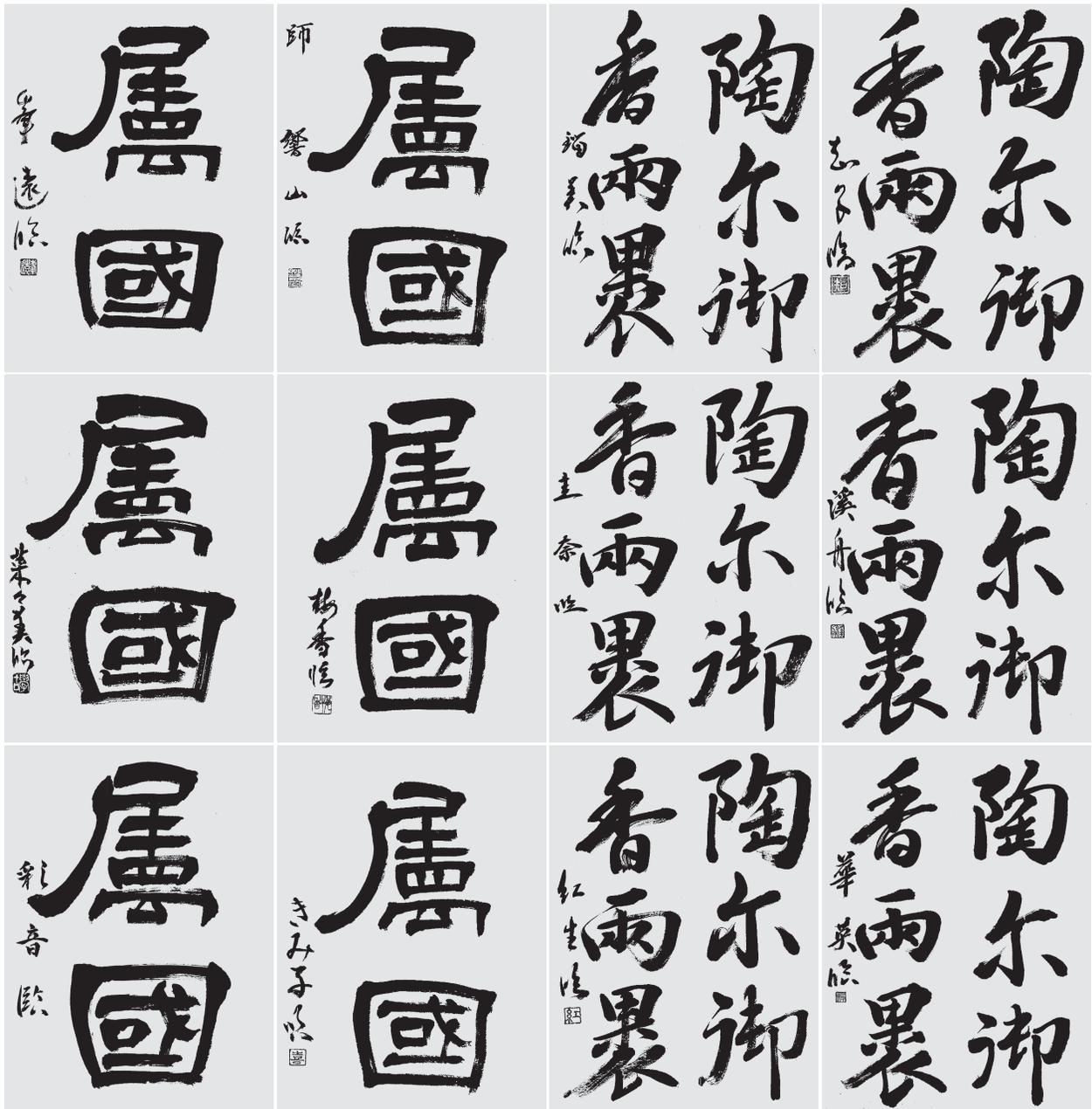
笠原博子先生選評



三宅春華 推選
運腕大きく、舞うように繰り出す文字の連なりはリズムミカル。墨量の変化で書き過ぎない美しさを表現。揺らぎ流れる行と、終句の文字の寄り添いに魅了。

久世晃子 推選
静寂を感じさせる「月」が上方で凜として作品全体を照らしている。渴筆を巧みに使って、歌意を表現した情緒ある作品になりました。

葛西玄涛先生選評



高志知子 師範
筆圧の強弱を明確にして、種々の線が適所に配置された。運筆の速度変化で渴筆が美しくなった。全てが柔らかな腕の運動から生まれたものだ。

小池瑠美 準四
流れを強く感じる完成度の高い作品だ。次の点画を意識して、自然に動いている。筆の弾力を生かすために無駄な力を入れずに書き上げている。

内木響山 師範
直線を引こうという意識が強く感じられ、鑑賞者に感動を与えます。少しだけある渴筆と、潤筆の比率がとても良くて、軽重が良い印象となった。

林 溪舟 師範
原帖をよく観て、線の角度や太細を正確に表現している。字形だけでなく、線を引く呼吸も近いようで、空海が手紙に込めた感情も見破ったか。

濱田圭奈子 準三
透明度の高い純粋な美しい線が、主役となって、紙面いっぱい躍動しています。文字の大小の変化を違和感なく設けて安定させる技巧派です。

川島梅香 師範
円い温かな直線が多く、文字の表情を優しくしています。国構えの四本の線の角度や曲がり方が、原本とほとんど同じになっていて驚きました。

田村華英 準師
文字は小さめであっても筆を大きく動かし、充実した線で書かれています。字間の余白が広めであっても散漫にならない線の強さがあり美しい。

桜庭紅生 三級
終始に力強い線で、どっしりとした重さがある。強く引いた線も直筆が主になっており素晴らしい。どんどん上昇して、快作の誕生が楽しみです。

土田きみ子 準師
明快で鋭い細めの線が、良い緊張感を持っていて、紙面を引き締めています。長い線での自然に生じた揺れに作者の心のゆとりを感じてしまう。

堀 菜々美 準五
硬めの線を随所に入れながら、忠実に臨書をしています。深い蔵鋒で重めに引いた曲線が、味わい深くなっていて、鋭い線と良い感じで調和した。

神 彩音 準三
運筆の速い直線の渴筆が、切れが良い。印象を強くしました。横画の速さその他の線の速度の違いが、多種の線となり、魅力を増すことになった。